

「次世代につなぐまちづくり」を目指して

増原聡町長の急逝に伴う日南町長選が行われ、無投票で前副町長の中村英明さん（神福）が初当選されました。

中村英明新町長は、12月17日に初登庁。当選した12月16日から4年間、日南町の舵取りを担います。「増原町政を継承しつつ、自分の色も出して行きたい。」と言われる中村新町長にお話を伺いました。



まずは就任おめでとございませう。今の率直な気持ちをお聞かせください。

町民の皆さんの暮らしに対し、責任を持つて行動したいです。前町長の死去ということで、副町長が順当との声もあつたが、それに甘えず、やるべきことをしっかりとやらなさいといけないと思います。

町民や町を元気にする責任があると認識し、その責任の重さを改めて感じています。

増原町政の継承と次世代につなぐ町づくりを掲げられました。

来春開校するにちなみ中国山地林業アカデミーは、規模は小さいですが、日南町だけでなく、周辺自治体や中国山地の人材育成につなげていきます。保育料や高校生までの医療費、高校生の教科書の無償化などは継続したいと思います。加えて、小中学生が利用する路線バスの無償化を新年度予算で検討したいと思っています。

日南町は高齢化率が5割を超え、人口構成も80歳代が一番多いのが現状で



す。10年先も町を維持するには人づくりが必要だと思っています。農業や地域コミュニティの中心は60歳〜70歳代で、下の世代に引き継いでもらうためにも人づくりが重要だと思っています。

次世代につなぐ上で、まず取り組みたい施策は何でしょうか。

健康づくりと結婚対策です。何をやるにもまずは身体が資本だと思えます。健康づくりでは、元気であること確認する検診と位置付け、受診率の向上につなげていきます。

結婚対策は、今年度婚姻奨励事業として、結婚相談所と一緒に事業を展開してきました。今後はこれに加えて、「仲人制」のような取組についても考えていき、ひとつのルールだけではなく複数のルールを作りたいと思っています。

これから忙しい日々となると思いますが、新町長のリフレッシュ法などあれば教えてください。

今までは、外で汗を流したり、まわりの風景を見ながら過ごしてきました。これからは、それもままならないことも多くなると思いますので、趣味程度のスポーツを中心に考えて、健康に注意していきたいと思っています。

中村 英明 (63)

1974年、日南町役場入り。住民課、日南病院、総務課、建設課、福祉保健課を歴任。2006年3月日南町役場退職。同年4月あかねの郷施設長に就任。2010年日南町副町長に就任。

日南町役場在職中は、人権センターや特別養護老人ホームの建設に携わる。日南福祉会設立にも携わり、設立後1年間同法人に就任。

退職後、あかねの郷施設長に就任後は、法人の経営・運営にあたり、認知症対応型グループホームの建設に尽力。

増原町政の開始と共に副町長に就任し、8年8ヶ月にわたり増原町長を支える。

増原町長の死去に伴う町長選に立候補し、初当選。

